

不正防止の対策について

加盟店に対しては、不正換金防止の注意喚起を文書において通達を図り、事前の不正防止を行った。しかしながら、結果的に、2件の不正換金の疑い事案が発生し、事業者ヒアリングを行い、返金後に加盟店登録の解除を行った。

(公印省略)

令和2年12月14日

参加加盟店 各位

Go To Eat(イート)キャンペーン大分県事務局
大分商工会議所 会頭 吉村 恭彰

不正に関する事項の徹底について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、Go To Eat キャンペーン事業に際して、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本事業におきましては、全国的に加盟飲食店自らが購入した食事券で自己取引を行い、換金請求を行うケースが発生しております。

こうした加盟飲食店の食事券自己取引、架空取引は、不正行為に該当します。

参加登録店の皆様におかれましては、下記の不正に関する行為が判明した場合、換金の拒否や加盟店の登録取消のほか、法的措置を取らせていただく場合がございますのでお知らせいたします。

本事業は、コロナ禍で苦境に立つ飲食店等の皆様に応援するものでございます。一部の不正等により本事業が停止・廃止となることのないよう参加加盟店皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

【不正に関する事項】

- (1) 加盟飲食店舗の参加登録資格の偽装、実態のない店舗の場合
- (2) 食事券の自己取引、架空取引、虚偽報告を行った場合
- (3) 食事券の再販、再流通を行った場合
- (4) 食事券の偽造、悪用、濫用を行った場合

以 上

*裏面に「大分県からのお知らせ」文書を添付しています。

「3密の回避」や「配席の工夫」などについてご協力をお願いします。

〔お問い合わせ先〕

Go To Eat(イート)キャンペーン大分県事務局／大分商工会議所
特設コールセンター TEL. 097-536-5210

不正換金対応等について

事例①

加盟店A 個人事業主 従業員0人

2020年11月16日 食事券利用開始

17日 換金事務局へ3400枚(1,700,000円分)の食事券が届く

18日 換金事務局へ750枚(375,000円分)の食事券が届く ⇐ 大分県事務局から換金事務局へ加盟店Aへの換金一時停止を求める

大分県事務局 ⇒ 農水省GoToEatキャンペーン準備室へ加盟店取消が出来るか確認。

事実関係調査 ⇒ 警察へ事件相談 ⇒ 被害届提出 ⇒ 加盟取消 と指導を受ける。

24日 換金事務局へ2,000枚(1,000,000円分)の食事券が届く

25日 加盟店調査

店舗の規模、届いた食事券が冊子から切り取られていない点などから自己取引の疑いがあり、大分県事務局と地域事務局の担当で加盟店へ訪問ヒアリングした結果、不正換金の可能性が出た。警察、弁護士に相談したところ、刑事事件の扱いにならない、また確実に不正と断定出来ないとの意見があり、加盟店と協議の上、今後は不正と疑われるような取引は行わないなどを記載した誓約書①(次ページ)を交わし、換金に応じた。

2020年12月 1日 3,075,000円を換金(加盟店Aの登録口座へ振込

2日 農水省GoToEatキャンペーン準備室へ経過を報告したところ、今回の事例は不正請求にあたるため、給付金の対象とならないと指摘を受ける。

10日 加盟店Aへ事情を説明し、給付金額(615,000円)の返金を依頼した。

15日 加盟店Aから大分県事務局へ給付金額(615,000円)の返金があった。

2021年 1月15日 加盟店Aに対して加盟店取消(1月18日付)の通知を発出

事例②

加盟店B 個人事業主 親子2人で営業

2021年1月12日 換金事務局へ1703枚(851,500円分)の食事券が届く

15日 換金事務局へ2396枚(1,198,000円分)の食事券が届く

18日 換金事務局へ1775枚(887,500円分)の食事券が届く

換金事務局から、短期間で大量の食事券(連番)が届いており、不正請求の疑いがあるとの報告

25日 大分県事務局担当が加盟店を訪問ヒアリングした結果、不正換金の可能性が出たことから、事情を説明し、給付金を除く金額(2,349,600円)のみ換金することとなった。

誓約書①

Go To Eat キャンペーン大分県事務局
大分商工会議所 会 頭 吉村 恭彰 殿

誓 約 書

当事業所は、Go To Eat キャンペーン事業に係る加盟店登録を継続するにあたり、下記の事項を遵守することを、ここに誓約いたします。

記

- 1 食事券の自己取引、架空取引など、飲食サービスの提供なく食事券の換金は、一切行いません。
- 2 食事券を使用できない商品に対して、食事券での支払いは、受け付けません。
- 3 食事券の再販、再流通は、行いません。
- 4 食事券の偽造、悪用、濫用は、行いません。
- 5 食事券を紛失、毀損した場合は、全て自己責任とします。
- 6 本誓約書に反したことが判明した場合は、直ちに加盟店登録を取り消されても異存ありません。

以 上

令和2年11月 日

住 所

事業所名

代表者名

印

10 食事券の販売実績

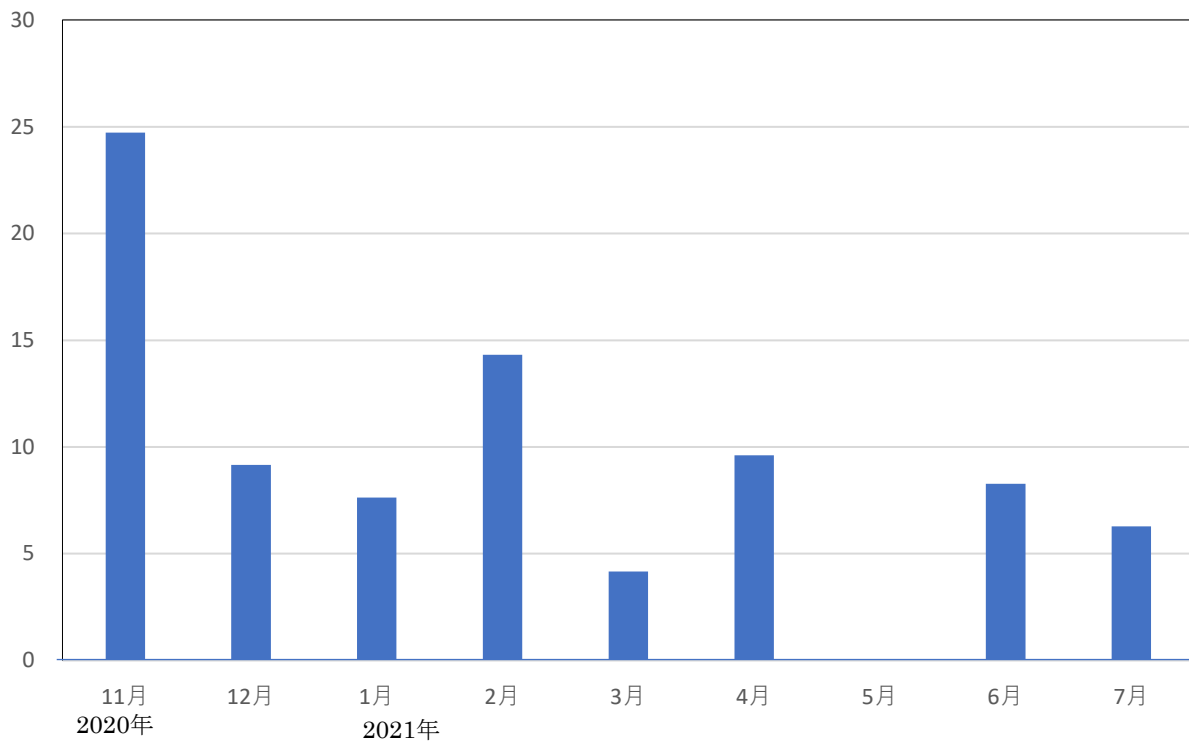
全体の販売実績

食事券の販売状況を見ると、2020年11月が最も多い月となった。2020年11月期は販売開始月のため、購入者は多い。また、2021年3月期は販売終了期限を広告したこともあり、急激に購入者が増えた。第2弾では、第1弾で新型コロナの影響による事業期間の延長が続いた経験から慌てて購入する消費者は少なかった。そのようなことから、第2弾は完売に至らなかった。

第1弾	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	合計
販売冊数	197,809	73,329	61,005	114,544	33,313	480,000
販売枚数	4,945,225	1,833,225	1,525,125	2,863,600	832,825	12,000,000

第2弾	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	合計
販売冊数	80,059	0	69,000	52,296	201,355
販売枚数	1,921,416	0	1,656,000	1,255,104	4,832,520

(億) 販売金額



エリア別の販売実績(第一弾)

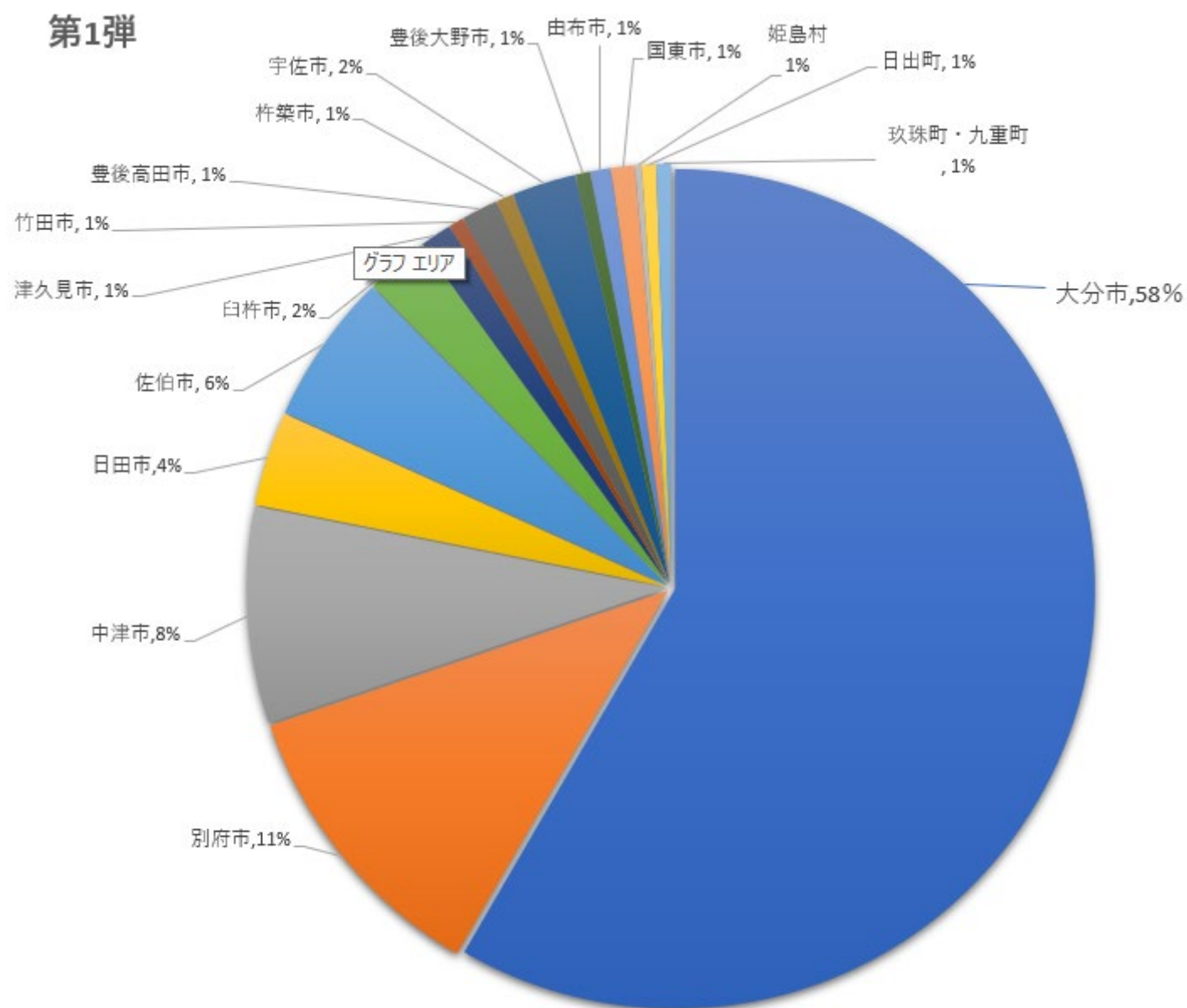
エリア別の販売実績では、第一弾・第二弾とも、大分市が最も多く、次いで、別府市と中津市となった。第一弾、第二弾ともに県庁所在地の大分、隣接する別府市で購入する方が多かった。

第1弾 エリア別販売実績

(単位：冊)

地区名	総数	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月
大分市	280,206	112,418	41,425	37,896	69,194	19,273
別府市	54,800	23,809	7,053	7,942	14,527	1,469
中津市	40,000	16,848	7,727	4,220	7,688	3,517
日田市	17,400	6,395	3,067	1,760	4,271	1,907
佐伯市	27,995	13,188	3,519	2,603	5,724	2,961
臼杵市	11,700	4,466	2,600	1,570	2,406	658
津久見市	5,910	2,164	1,022	606	1,558	560
竹田市	2,775	1,158	335	269	668	345
豊後高田市	6,800	3,191	1,207	559	1,591	252
杵築市	3,200	1,597	505	295	593	210
宇佐市	11,800	4,810	2,045	1,270	2,732	943
豊後大野市	2,725	1,457	378	248	642	0
由布市	3,800	1,296	629	439	916	520
国東市	4,350	1,749	747	410	1,112	332
姫島村	1,200	175	145	207	307	366
日出町	2,639	1,881	374	384	0	0
玖珠町・九重町	2,700	1207	551	327	615	
合計	480,000	197,809	73,329	61,005	114,544	33,313

エリア別の販売実績(第一弾)



エリア別の販売実績(第二弾)

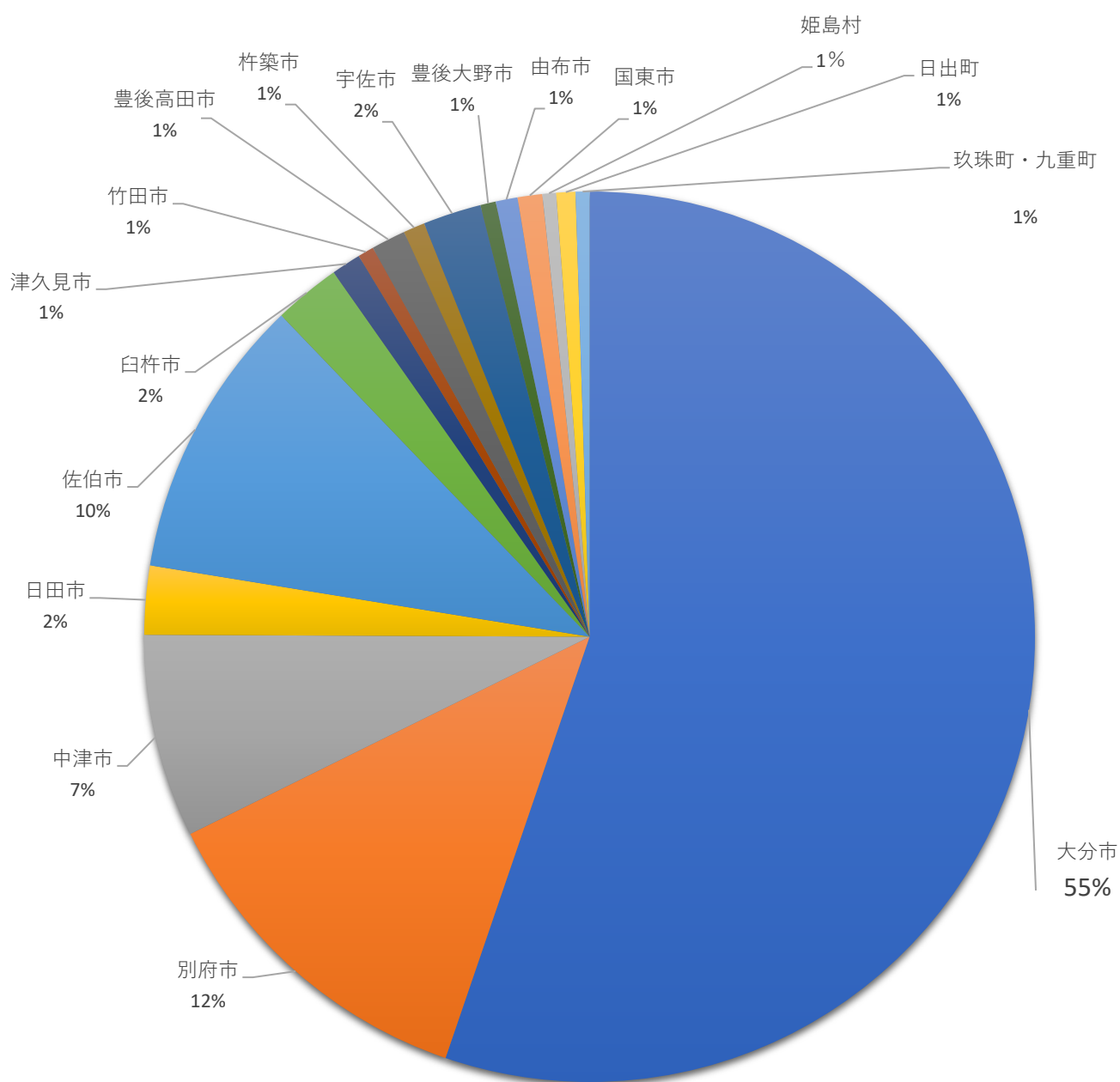
第2弾 エリア別販売実績

(単位：冊)

地区名	総数	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月
大分市	111,237	40,750	0	39,354	31,133
別府市	25,075	8,883	0	9,586	6,606
中津市	14,842	4,992	0	5,304	4,546
日田市	5,024	1,323	0	1,928	1,773
佐伯市	20,674	14,644	0	3,738	2,292
臼杵市	4,881	1,922	0	1,659	1,300
系列1 要素 "大分市" 値: 280,206 (58%)	2,159	822	0	831	506
竹田市	1,175	501	0	407	267
豊後高田市	2,511	799	0	936	776
杵築市	1,579	623	0	502	454
宇佐市	4,260	1,518	0	1,541	1,201
豊後大野市	1,125	474	0	355	296
由布市	1,600	958	0	606	36
国東市	1,800	633	0	691	476
姫島村	1,000	208	0	692	100
日出町	1,400	677	0	529	194
玖珠町・九重町	1,013	332	0	341	340
合計	201,355	80,059	0	69,000	52,296

エリア別の販売実績(第二弾)

第2弾



11 食事券の利用実績

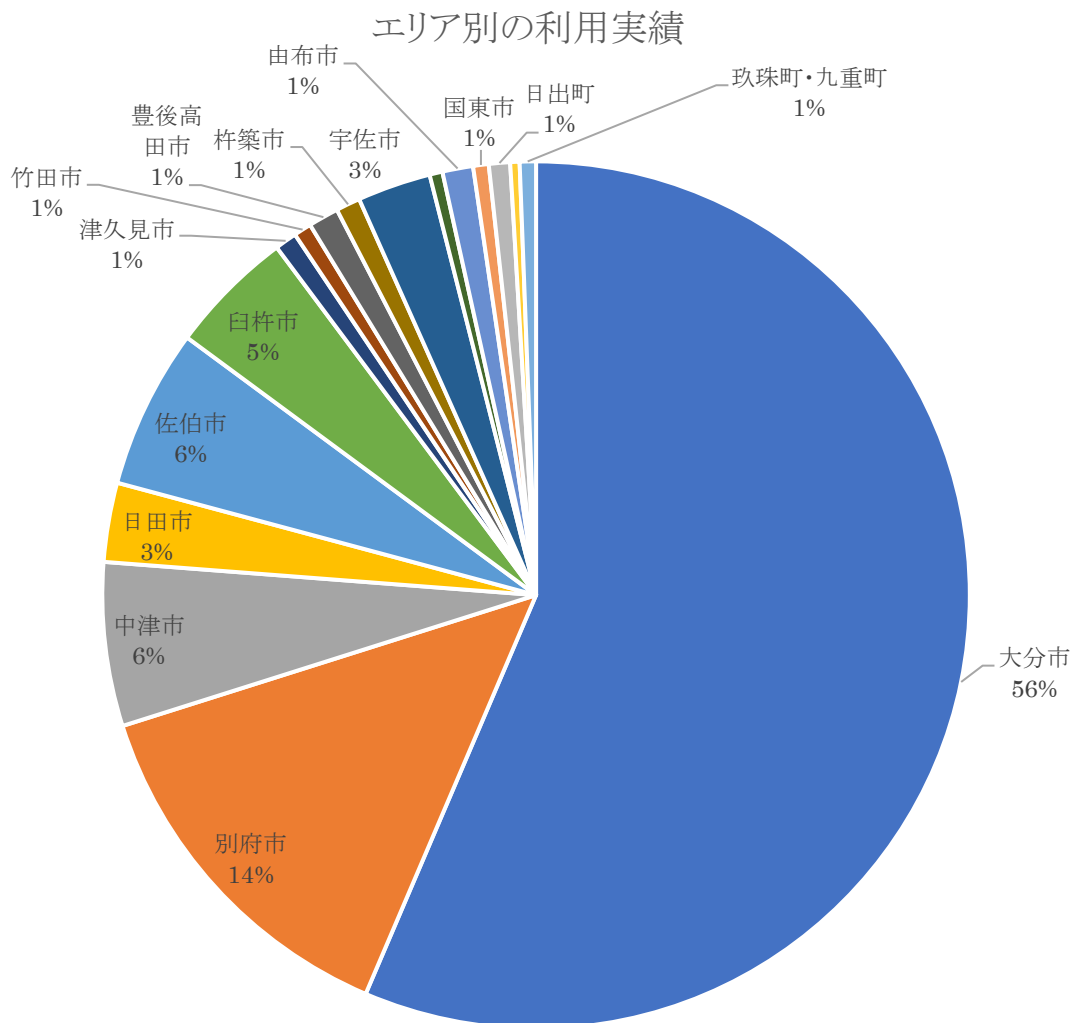
食事券の利用実績

食事券の利用状況(換金状況)を見ると、2021年1月と2021年3月が多い月となった(※2021年8月期は駆け込み利用と想定される)。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、比較的感染の落ち着いていた時期の利用が多かったと推測される。換金率は、第1弾が99.4%、第2弾が99.8%となっている。

※但し、加盟店の中でも利用された食事券を1ヶ月または2ヶ月保管し、一定程度食事券を貯めて換金センターへ送付しているケースもあることから、正確な利用実績を確認出来なかった。

エリア別の利用実績

エリア別の利用実績では、大分市が全体の56%と最も多い結果となった。次いで、別府市・中津市・佐伯市の結果となった。



月毎の換金実績

月別換金金額／月別換金件数

第1弾、第2弾 食事券 換金実績(月毎)

年 月	合 計	第1弾(25%プレミアム付)	第2弾(30%プレミアム付)	件数
2020年11月	1,820,000	1,820,000	0	20
2020年12月	966,265,000	966,265,000	0	4,011
2021年1月	1,092,948,000	1,092,948,000	0	3,809
2021年2月	923,420,100	923,420,100	0	3,754
2021年3月	1,270,651,500	1,270,651,500	0	4,929
2021年4月	718,060,500	718,060,500	0	3,240
2021年5月	708,371,000	424,244,000	284,127,000	3,123
2021年6月	539,021,000	232,210,000	306,811,000	2,956
2021年7月	778,081,000	141,854,000	636,227,000	3,649
2021年8月	1,231,295,000	166,971,500	1,064,323,500	4,870
2021年9月	147,286,000	35,127,500	112,158,500	380
2021年10月	537,000	503,500	33,500	1
2021年11月	174,000	0	174,000	1
	8,377,930,100	5,973,958,600	2,403,854,500	34,743

(単位：円)

余剰金 29,871,136 円 (第1弾 19,630,720円 第2弾 10,240,416円)

需要が落ち込んだ飲食店及び生産者支援事業を会議所内で協議し、今後、実施していく。

12 実績確認監査等事業者への報告

実績確認監査等事業者への報告

キャンペーン期間中、「食事券販売・使用状況」や「飲食店の登録情報」、「食事券の発行明細」「食事券の代金支払い明細」「飲食店別食事券回収情報」の実績を毎月、excel様式で報告している。

• 報告スケジュール

報告月	対象期間	作成期間	報告日
2020年/10月	キャンペーン開始～10月22日(木)	10月23日(金)～10月30日(金)	10月30日(金)
2020年/11月	10月23日(金)～11月22日(日)	11月23日(月)～11月30日(月)	11月30日(月)
2020年/12月	11月23日(月)～12月15日(火)	12月16日(水)～12月23日(火)	12月23日(水)
2021年/01月	12月16日(水)～01月21日(木)	01月22日(金)～01月29日(金)	01月29日(金)
2021年/02月	01月22日(金)～02月18日(木)	02月19日(金)～02月26日(金)	02月26日(金)
2021年/03月	02月19日(金)～03月31日(水)	04月01日(木)～04月07日(水)	04月07日(水)
2021年/04月	04月01日(木)～04月21日(水)	04月22日(木)～04月28日(水)	04月30日(金)
2021年/05月	04月22日(木)～05月23日(日)	05月24日(月)～05月28日(金)	05月31日(月)
2021年/06月	05月24日(木)～06月22日(火)	06月23日(水)～06月29日(火)	06月30日(水)
2021年/07月	06月23日(水)～07月20日(火)	07月21日(水)～07月29日(木)	07月30日(金)
2021年/08月	07月21日(水)～08月22日(日)	08月23日(月)～08月27日(金)	08月30日(月)
2021年/09月	08月23日(月)～09月21日(火)	09月22日(水)～09月29日(水)	09月30日(木)
2021年/10月	09月22日(水)～10月21日(木)	10月22日(金)～10月28日(木)	10月29日(金)

実績確認監査等事業者への報告は以下の様式で報告している。

〈販売店別販売実績〉

販売店名	販売日の集計対象期間 (From)	販売日の集計対象期間 (To)	券額面	販売枚数	販売額集計	プレミアム率
トキハわさだタウン	2021-04-22	2021-05-23	500	143,160	71,580,000	20
トキハインダストリー	2021-04-22	2021-05-23	500	123,096	61,548,000	20
アミュプラザおおいた	2021-04-22	2021-05-23	500	38,856	19,428,000	20
大分まちなか倶楽部	2021-04-22	2021-05-23	500	7,800	3,900,000	20

〈飲食店別食事券回収情報〉

飲食店名	食事券回収日	券額面	回収枚数	回収額集計	プレミアム率
すき家	2021-06-21	500	317	158,500	25
すき家	2021-06-21	500	360	180,000	20
関屋リゾート	2021-06-21	500	8	4,000	25
関屋リゾート	2021-06-21	500	66	33,000	20
資さんうどん	2021-06-21	500	1601	800,500	25

〈代金支払情報〉

代金支払日	飲食店名	飲食店への 代金支払額	回収日(From)	回収日(To)	プレミアム率
2021-06-29	すき家	158,500	2021-06-21	2021-06-23	25
2021-06-29	すき家	180,000	2021-06-21	2021-06-23	20
2021-06-29	関屋リゾート	4,000	2021-06-21	2021-06-23	25
2021-06-29	関屋リゾート	33,000	2021-06-21	2021-06-23	20
2021-06-29	資さんうどん	800,500	2021-06-21	2021-06-23	25
2021-06-29	Hako	27,500	2021-06-21	2021-06-23	25

〈飲食店情報〉

飲食店名	飲食店住所	郵便番号	飲食店連絡先	振込口座番号	登録日
啜り処 粹元	佐伯市長島町1-6-6	876-0813	090-5484-5155	0183-053-7522929	2021-02-12
串焼きむく	大分市上宗方1262-1 安東ビル一階	870-1152	097-586-1663	0183-004-5058157	2021-02-12
青年酒場	大分市末広町1丁目 1-28	870-0027	097-532-8977	0183-005-7518367	2021-02-12

不正防止のためのヒアリング及び実績報告作成体制

1. 内容 Go To Eat(イート)キャンペーンの業務プロセスの確認及び改善点等について聞き取り調査
2. 調査機関 農林水産省業務委託先 EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
担当者:2名
3. 調査日時 2021年2月26日(金) 10時10分より11時40分
4. 指摘改善点 商業施設の換金について、施設内複数加盟飲食店の一括換金について農林水産省に報告義務があるとの事。
5. その他 一括換金報告義務対象の5つの施設に対して必要な誓約書等を交わした。

正確なデータを提出するにあたって、換金業務を委託した株式会社JTB大分支店のGTE専属職員を中心とする16名の職員及び大分商工会議所担当職員1名でチェックを行うなどし、遺漏の無いよう報告に努めた。

〈実績報告データ協力体制〉

大分商工会議所 事業部 地域振興課 担当者2名

株式会社JTB大分支店 担当者1名

13 相談窓口・申請案内等事業者との連携

相談窓口・申請案内等事業者との連携

[相談窓口]

場 所:大分商工会議所 4階会議室

時 間:8:30~17:15

業 務:地域事務局及び再委託先、協力会社・団体等の相談窓口業務
加盟店登録サポート、問合せ対応

事業実施にあたり、「県事務局・地域事務局・食事券販売店担当者合同会議」を開催した。

年月日	場 所	参加者	内 容
2020年10月7日	大分商工会議所 6階 大ホール	39名	①事業概要について ②対象飲食店について ③加盟店マニュアルについて ④食事券販売店について ⑤登録店の募集について 他
2020年11月5日	大分商工会議所 6階 大ホール	65名	①食事券の販売について ②県民への販売告知について ③参加登録店の登録状況について ④参加登録店の換金について ⑤事前照会した質問に対する回答について 他
2020年12月22日	大分商工会議所 6階 大ホール	45名	①参加登録店舗数について ②食事券の販売について ③既存食事券の販売期限及び使用期限の延長について ④人材派遣について ⑤不正に関する事項の徹底について ⑥新型コロナウイルス感染症対策について 他
2021年2月9日	大分商工会議所 6階 大ホール	47名	①食事券販売期間及び利用期限の延長について ②不正に関する事項の徹底について ③食事券販売促進について ④食事券の取りまとめ販売について ⑤市町村別食事券販売及び換金状況について ⑥食事券販売手数料の支払及び管理簿の提出について ⑦食事券売上実績の提出について ⑧事前照会した質問に対する回答について 他
2021年3月25日	大分商工会議所6 階 大ホール	59名	①第1弾食事券販売実績等について ②第2弾食事券販売について ③お願い事項について 他

14 事業のまとめ

事業のまとめ

準備期間

令和2年7月、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言に伴う休業要請や移動制限等によって、それまで堅調に推移していた個人消費は消失し、とりわけ外食産業や観光事業者は厳しい経営環境に直面するなど、地域経済は大きく疲弊していた。

そのような中、全国的に展開された「Go To Eatキャンペーン事業」は、直接、消費を喚起し、飲食店や生産者を支援するものであり、県民の期待も高く、地域での早期スタートが望まれていたことから、県や県内商工会議所・商工会と連携し、事業計画を策定した。その計画に沿って、関係機関や外注先と協議を重ね、全体会議も行うなど全県的な実施体制を整え、スタートは若干遅くなったが、食事券の販売は11月9日、利用は11月16日に開始した。

加盟店の募集

県内全域でなるべく多くの飲食店が参加することが本事業成功の鍵となることから、加盟店の募集にあたっては、テレビ・新聞等の各種メディアを通じて呼びかけるとともに、商工会議所・商工会と連携を図り、会員事業所を問わず域内の多くの飲食店に参加を促した結果、約3,200店もの加盟店登録があった。

食事券の発行

食事券の作成にあたっては、ランチなど少額での利用がしやすいよう、また飲食店にとっても管理しやすいよう「500円券」の食事券1種類とし、販売金額については、釣銭不要の1冊1万円とした。食事券の偽造や複製防止のために、食事券の表面にコピーガードを施し、通し番号も付与するなどの対策を講じた。

また、第1弾と第2弾食事券が容易に判別、管理できるよう、「大きさ」、「色合い」を異なるものとして発行した。

なお、キャッシュレス決済が進んでいる中で、QRコード決済やコンビニの活用等も検討したが、検討期間が短かったことや運用費の面から今回は断念した。こうしたものの活用は、今後の課題として引き続き検討したい。

食事券の販売

販売にあたっては、たくさんの県民から利用してもらえるよう、購入の上限（1回・1人当たり2万円・2冊迄）を周知・徹底し、販売を行った。

また、県民への周知・広報については、テレビCMや新聞広告（大分合同新聞、西日本新聞）、地元情報誌の広告のほか、各商工会議所・商工会等関係団体の機関紙やホームページでの周知など、県内全域に情報が伝わるよう多様な媒体の活用を図った。

また、販売所においては、行列による密を回避するために警備員や派遣職員を配置し、ソーシャルディスタンスなどの対策を講じるなどの配慮を行った。

食事券の換金

GoToEatキャンペーン事業の趣旨が飲食店支援という観点から、早期換金が大事という考えのもと、当初から1週間1回の換金とした。通常の商品券やクレジットカード決済の換金期間よりも早く現金化されるため事業者には大変好評であり、こうした対応も加盟店募集の促進につながった。

また、換金業務では責任者を配置するとともに、食事券の数え間違いが無いようにダブルチェック体制の徹底を図った。

事業の成果、総括

県及び各会議所・商工会との連携など全県的な実施体制のもとで、本事業を進めたことにより、第1弾食事券は3月9日に全国2番目の早さで完売し、第2弾も4月21日に速やかに販売開始、8月15日には食事券の利用を無事に終了することができた。食事券販売率は93.3%、利用額は約83億7千万円となった。

大分商工会議所の景気動向調査アンケートなどには、事業者から「本当に助かった」「第3弾も期待している」等、多くの感謝の言葉をいただいた。また、飲食店においては、店内レイアウトの見直し、消毒・換気など感染対策の向上はもとより、売上向上に向けて新たな創意工夫などに取り組む店舗も出てくるなど、副次的な効果もあった。

以上のとおり、本県において、本事業は所期の目的を果たすことができ、コロナ禍の中での飲食店・生産者支援として大いに貢献できたと考えている。

15 メディア掲載資料

2020年 11月 10日 (火)	合同	日経	朝日	毎日	読売	西日本
(25面)						

新型コロナウイルスの影響で打撃を受けた飲食業界を支援する国の需要喚起策「GoToイート」で県内でも9日、プレミアム付き食事券「おいいた味力食うぼん券」の販売が始まった。販売は2021年1月末までで売り切れ次第終了する。大分商工会議所によると、食事券は500円券25枚（1万2500円分）の1セットを1万円で購入できてプレミアム率は25%。県内では48万セット、80億円分が商工会議所や商業施設など79カ所で販売される。購入できるのは1人1回につき2セットまで。

食事券の利用期間は11月16日から21年3月末まで。参加登録した県内の飲食店で利用でき、登録店舗は9日現在で約2200店。大分商工会議所が参加店舗の登録を随時受け付けている。

販売が始まった9日は、県内各地で多くの人が購入に訪れた。中には100人以上が行列を作ったり、販売開始の1時間前から並んだりした人もいたという。大分商工会議所の特設会場で購入した大分市の羽田野直子さん（75）は「今日から販売と知って急いで来ましたが、普段食べられないものを食べたい。パンフレットを詳しく見て、どの店に行くか決めた」と話した。

【辻本知広】

GoTo「食事券」販売始まる

1万円で500円券が25枚

2020年 11月 10日 (火)
(33面)

合同 日経 朝日 毎日 読売 西日本



食事券を買い求める人たち（大分市のアミューズザおおいにて）

飲食店を支援する政府の「GoToイート」で、県内では9日、購入額に25%を上乗せして使え、プレミアム付き食事券の販売が始まった。79カ所の販売所では、朝から列ができる場所もあった。関係者からは、新型コロナウイルスで打撃を受けた経済の活性化に期待する声が上がった。

大分商工会議所が開設した県事務局によれば、1冊1万2500円分（500円券25枚入り）の食事券「おいいた味力食うぼん券」を1万円で購入。1冊2冊まで購入できる。来年1月末まで48万冊を発行する予定で、約2200店舗（9日現在）で利用可能。

大分市の「大分分館」の商業施設「アミューズザおおい」では、ピーク時に200人ほどが並んで買い求めた。今後2週間、2万5000冊を先着順で販売する予定だ。三友（3）と訪れて購入した大分市の主婦（50）は「家族で利用したい」と話した。

使います。来週で終了した。や新年会時期を迎えるのを食事券は15日から来年3月まで利用可能。大分商工会議所は「飲食店側も特設コールセンター（090-977-1111）」を開設し、問い合わせを受け付けている。

GOTO食事券に列

販売開始 1万円で1万2500円分

飲食店を支援する政府の「GoToイート」で、県内では9日、購入額に25%を上乗せして使え、プレミアム付き食事券の販売が始まった。79カ所の販売所では、朝から列ができる場所もあった。関係者からは、新型コロナウイルスで打撃を受けた経済の活性化に期待する声が上がった。

新型
コロナ

イート食事券 県内伸び悩み



第3波が直撃、売れ行きが伸び悩む「Go To イート」の食事券

大分県内で食事券を使えるのは全18市町村の計2906店(21日時点)。ジャンル別では▽居酒屋 706店、和食・すし 664店、カフェ・スイーツ 379店、ファミリーレストラン・食料品 363店。各地の居酒屋、商業施設を計86カ所で販売している。県によると、食品衛生法の許可を受ける飲食店は1万3926店(3月末時点)あり、接待を伴う店などは事業の対象外になっている。

第3波直撃、外食控えムード

新型コロナウイルスで打撃を受けた飲食業を支援する国の事業「Go To イート」の食事券利用が大分県内で始まり、1カ月余りがたった。購入額の25%分を上乗せする「お得」なチケットは発行予定枚数の5割弱を販売したものの、第3波が直撃。外食を抑える人々が増え、売れ行きは伸び悩む。「忘年会シーズンの追い風に」と期待していた飲食店も、相次ぐキャンセルに苦しんでいる。

食事券は1冊1万円で1万2500円分(500円券25枚)が使える。県内は11月16日から利用が始まった。

県事務局の大分商工会議所によると、用意した計48万冊のうち、今日13日時点で22万8711冊(47・65%)が売れた。全国平均(41・17%)を上回り、湯浅泰実事業部長(57)は「まずまず健闘している」と分析する。

ただ11月中旬以降の感染再拡大により、外食に慎重となる空気が広がる。来年1月までの販売期間に完売するかは微妙という。発売直後に2冊を購入し、1冊を使った大分市上白木の女性会社員(60)は「得したと感ずるけど、今は店で食べるのは怖い」。今月上旬に2冊を買った同

飲食店 忘年会時期に痛手



市大通町の男性会社員(60)は「少人数でも利用して飲食店を支えたいが、迷っている」と話した。居酒屋などは書き入れ時の忘年会シーズン。事業を追い風に業績回復につながる好機だっただけに、

「Go To イート」食事券を消費して開店に備え「炭火焼鳥と水炊き」五郎